

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡地区衛生処理組合事務事業			事業コード	0265
担当課等	所属名	環境部 廃棄物対策課	担当係名		
	課長名	千葉 良高	担当者名	佐々木 亮人	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 1目 一部事務組合負担金(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 45年度～)					
事務事業の概要	盛岡市、雫石町及び滝沢村で構成する盛岡地区衛生処理組合に対し、構成市として負担金を納入するとともに、組合の運営について構成市町村間で協議し廃棄物(し尿及び浄化槽汚泥)の適正な処理を図る。					
根拠法令等	地方自治法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(第4条)、盛岡地区衛生処理組合同規約					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡地区衛生処理組合は、昭和45年に盛岡市、雫石町及び滝沢村のし尿等の処理を共同で行うため3市町村で設立した一部事務組合である。組合の運営費は構成市町村が応分の負担をしている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
処理施設周辺住民から、し尿等処理施設の環境に与える負荷の軽減や運搬車の美化等の改善の要望がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
公共下水道等の普及により処理量は減少傾向にある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①盛岡市(盛岡地域に限る。)、雫石町及び滝沢村のし尿処理を行っている盛岡地区衛生処理組合 ②盛岡地域から排出されるし尿及び浄化槽汚泥	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡地区衛生処理組合 B. 盛岡地域のし尿及び浄化槽汚泥世帯数 C.	単位 組合 単位 世帯 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①組合構成市として事務担当者会議等へ出席し、組合の事業等について関係町村と協議した。 ②盛岡地域から排出されたし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。 ③組合運営費の一部を負担した。 ※負担割合は経費の1/10が均等割(構成市町村で均等に3分割)、9/10が利用割(前年10月末時点のし尿処理場利用実績により構成市町村の負担割合を算出)となっている。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①組合構成市として事務担当者会議等への出席。 ②組合運営費の一部負担	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 事務局会議等の出席回数 B. 適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の総処理量 C. 1日当たりのし尿及び浄化槽汚泥の処理量(し尿及び浄化槽汚泥の年間処理量÷処理施設稼働日数)	単位 回 単位 kl 単位 kl
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	組合の事業が適正かつ効率的に運営されることにより、対象である盛岡地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の割合(適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の量÷適正に処理すべきし尿及び浄化槽汚泥の量) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】 B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】 C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位 % 単位 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位:%)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡地区衛生処理組合	組合	1	1	1	1	1	1	28年度
対象 指標B	盛岡地域のし尿汲取り及び浄化槽世帯数	世帯	8,469	8,469	8,469	8,357	8,357	8,357	28年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	事務局会議等の出席回数	回	7	9	7	8	8	8	28年度
活動 指標B	適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の総処理量	kl	17,565	17,054	17,054	16,056	16,757	16,757	28年度
活動 指標C	1日当たりのし尿及び浄化槽汚泥の処理量(し尿及び浄化槽汚泥の年間処理量÷処理施設稼働日数)	kl	48.1	46.7	46.7	44.0	45.9	45.9	28年度
成果 指標A	適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の割合(適正に処理されたし尿及び浄化槽汚泥の量÷適正に処理すべきし尿及び浄化槽汚泥の量)	%	100	100	100	100	100	100	28年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	216,521	223,471	232,178	229,594	228,648	228,648	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	216,521	223,471	232,178	229,594	228,648	228,648	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	216,521	223,471	232,178	229,594	228,648	228,648	*****
延べ業務時間数		時間	62	62	62	62	62	62	*****
職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	248	248	248	248	248	248	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	216,769	223,719	232,426	229,842	228,896	228,896	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 当該組合が適正かつ効率的に運営されるよう働きかけることにより、し尿等が適正に処理され、生活環境の保全に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 当該組合が適正かつ効率的に運営されることにより、し尿等の適正処理が図られ、経費の削減や環境負荷への軽減が見込まれる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 盛岡地域から発生するし尿等を適正に処理できなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 紫波・稗貫衛生処理組合事務事業及び盛岡北部衛生処理組合事務事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: し尿等の処理については、都南地域及び玉山区においても当該事業と同様に一部事務組合が行っているが、将来の広域化に向け関係団体と協議を始めたところである。しかし、現段階では各組合は地区内の処理人口を基に施設整備していることから統廃合は難しい。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 平成21年度から当該組合は包括的民間委託を実施し経費削減を図っているが、組合の運営が適正かつ効率的に行われるようさらなる働きかけを行うことにより、事業費の削減が見込まれる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 市の担当者は1人で他の事務を兼務しており、当該事務にかかる業務の大半は会議等の出席時間であることから、人件費の削減は困難である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 東部山間部を含め盛岡地域におけるし尿処理等が必要な区域全体に対して処理できる体制を整えている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益者負担の観点から、処理手数料の適正な負担のあり方を検討する余地がある。

